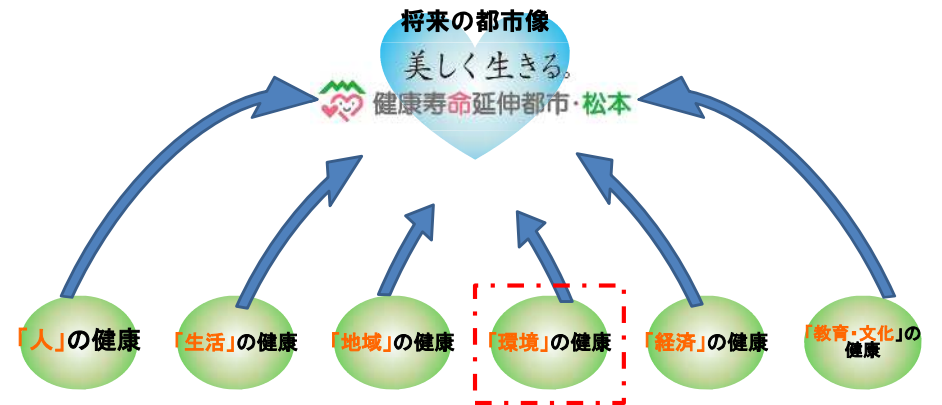




◇ 健康寿命延伸都市・松本の創造



- 「健康」を「より良い状態を保つこと」として位置付け
- 「人と社会の『健康づくり』」を目指した総合的なまちづくり政策

2

おそとで

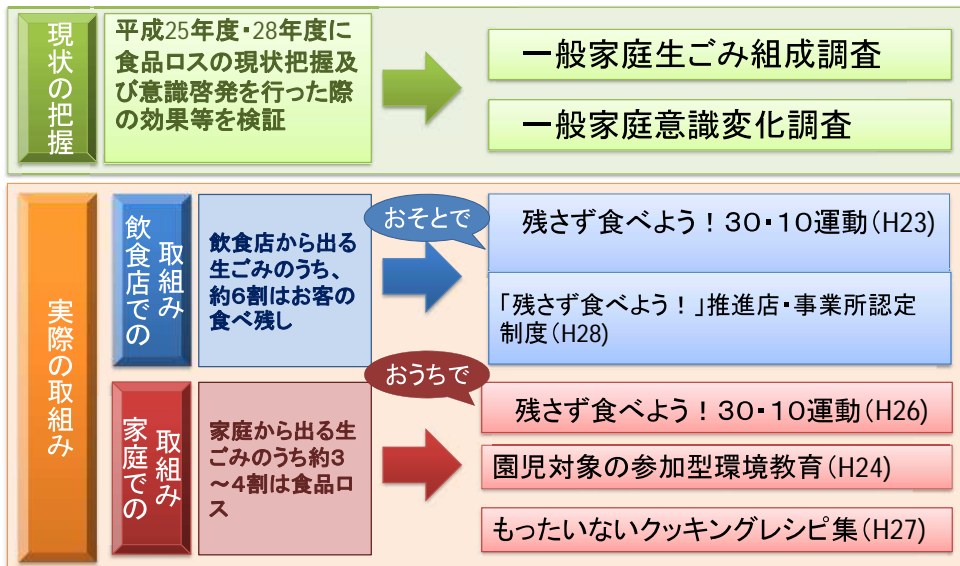
◇ 残さず食べよう！30・10運動 飲食店での食べ残しを減らす取組み



- ① 注文の際には、適量を注文しましょう。
- ② 乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しみましょう。
- ③ お開きの前10分間は自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう。

4

◇ 松本市の食品ロス削減事業



美しく生きる。

3

◇ 園児を対象とした環境教育

家庭での食べ残しを減らす取組み

キーワード 「参加型・とにかく楽しく」

食べものを作ってくれた人への感謝の心、資源の大切さを忘れない心を育むため、幼いころから環境に対する意識を高めるようと、感受性豊かな園児を対象に参加型の環境教育を実施 対象 市立全保育園・幼稚園、希望する私立園 年長児(全50園)

○パワーポイントを使ったクイズと説明

捨てたものはどうなる？

ごみとして捨てられたものはどうなるのか、分別したものは、新しい物に生まれ変わることを、パワーポイントを使いクイズ形式で説明

食べ残したものはどうなる？

食べ残した食品残さは焼却場で燃やされるが、食べたものは体をつくってくれる。心をこめて作ってくれた人への感謝の心が大切ということを説明



○「おいしいのんでリサイクル」のダンスをみんなで踊る

<H27年度実施>

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

小学生に対する環境教育の効果を評価・検証

小学校環境教育



◎食品ロス・3R等のテーマ
◎学年毎に双方向で楽しく実施

食べ残し量調査



◎モデル校3校で食べ残し量調査
◎環境教育実施前後（それぞれ1カ月程度）に測定

保護者に対する意識等変化調査



◎意識等変化に関するアンケート
◎子と保護者の意識等の変化等を聞き取り

◇食品ロス削減啓発用紙芝居作成プロジェクト

家庭での食べ残しを減らす取組み

紙芝居のコンセプト

「もったいない」の心

食物の大切さ
↓
「もったいない」の心
↓
食べ残し等
食品ロス削減

「アルプちゃん」と「ろすのん」のコラボ

「アルプちゃん」と「ろすのん」の両方が登場する内容で作成

消費者庁等を通じて全国発信

「アルプちゃん」をご当地キャラに変えることで全国で活用

<プロジェクトメンバー>

降旗まどか（里山辺保育園）
市川美里（波田ひがし保育園）
小林あゆみ（環境政策課）
菅原千史（さくら保育園）
野村佳菜（白板保育園）



<アドバイス>

竹迫祐子（安曇野ちひろ美術館副館長）

計11回実施



市内全保育園・幼稚園、図書館、こどもプラザ等に配布

データは、松本市及び消費者庁のホームページに掲載、自由にダウンロード可能

<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/osirase/foodloss-kamishibai.html>

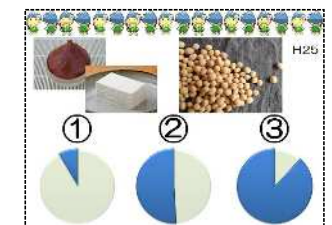
◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）



料理には、様々な材料が使われていること



たくさんの人や資源が関与していること



食料自給率など（クイズで説明）



世界には、食料不足の子もたちがいること



それでも食品ロスが出ていること

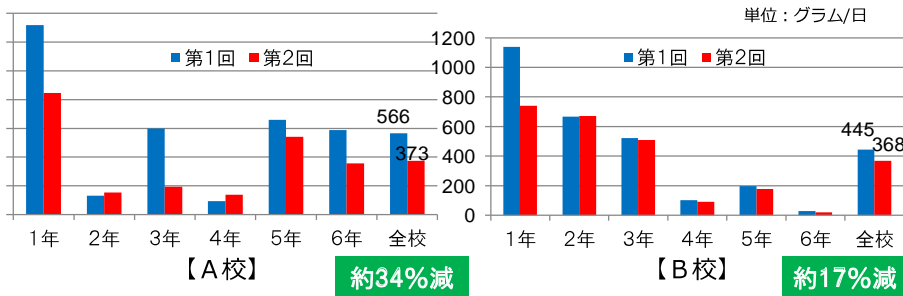


食品ロスの詳細について（写真）

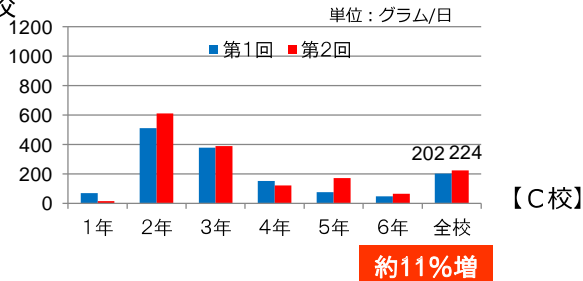
◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

食べ残し調査結果

◆環境教育実施校 <主食と副食の食べ残し量の1クラスあたりの学年平均>



◆環境教育非実施校



9

◇ 平成28年度 食品ロス調査事業

<現状の把握>

一般家庭生ごみ組成調査

実施時期

- ・平成28年9月30日、10月4日
- ・平成28年11月25日、11月29日 (計2回)

実施対象

- ・ごみステーション回収: 100戸(郊外農村型、郊外住宅型、市街地住宅型の3地区から回収)

調査項目

- ・①調理くず、②食べ残し、③手付かず食品(消費期限、賞味期限等の割合、程度)等の各重量及び生ごみに占める割合などを調査

一般家庭意識変化調査

- ・無作為抽出した20歳以上の1,000人にアンケート調査を実施

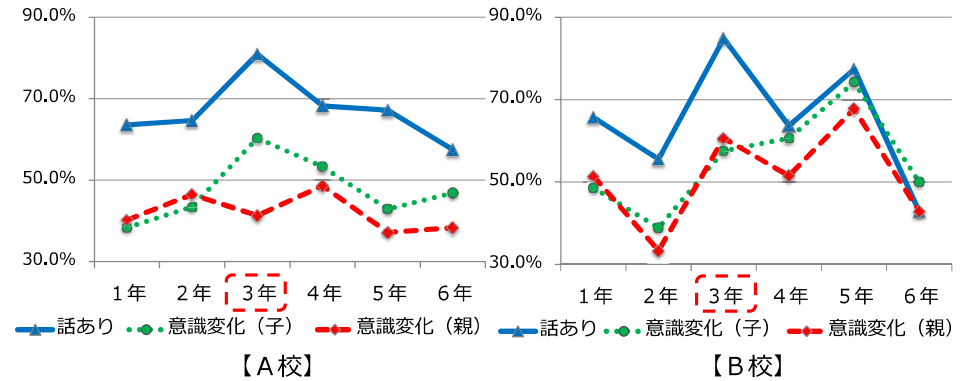


11

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

話の有無と意識変化等の有無の関連性

- ・ A校及びB校ともに話をした割合は3年生が最も高い
- ・ A校の3年生を除き、子と親の意識変化はほぼ同じ割合で推移
- ・ 話があった割合は、意識変化の割合と似た推移



H28年度から、家族に話をする割合が最も高く、効果が期待できる3年生を対象に、市内全小学校で実施

10

◇ 一般家庭生ごみ組成調査 (H25-H28 比較)

<現状の把握>

1戸当たりの生ごみの量

【単位:g】

| | | H25 | H28 | 重量差 | H25比 |
|--------|------------|-------|-------|------|--------|
| 食品ロス | 調理くずのうち可食部 | 229 | 197 | △32 | △14.0% |
| | 食べ残し | 180 | 138 | △42 | △23.3% |
| | 手付かず食品 | 90 | 106 | 16 | +17.8% |
| | 小計 | 499 | 441 | △58 | △11.6% |
| 食品ロス以外 | 調理くず | 1,082 | 717 | △365 | △33.7% |
| | 食品以外 | 47 | 46 | △1 | △2.1% |
| | 小計 | 1,129 | 763 | △366 | △32.4% |
| 合計 | | 1,627 | 1,204 | △423 | △26.0% |

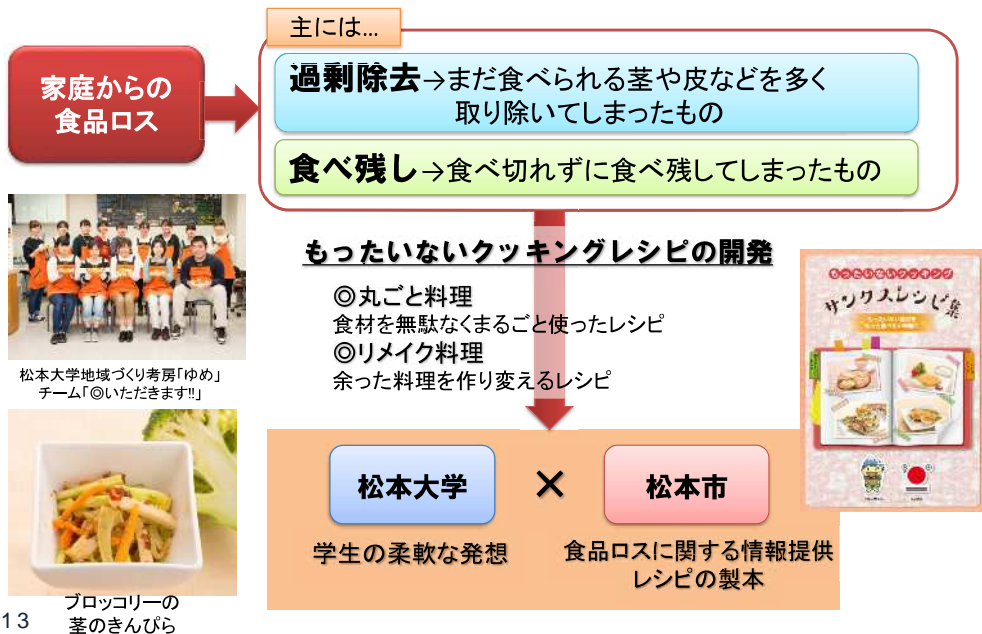
生ごみ量と、食品ロスのうち「調理くずのうち可食部」、「食べ残し」は減少

一方、「手付かず食品」は増加



12

◇ 松本大学との連携



おうちで

◇ 残さず食べよう！30・10運動 家庭での食べ残しを減らす取組み

毎月30日は冷蔵庫クリーンアップデー

冷蔵庫の中を点検し、賞味期限・消費期限の近いものや野菜・肉等の傷みやすいものを積極的に使用しましょう。

毎月10日はもったいないクッキングデー

特に、今まで食べられるのに捨てられていた野菜の茎や皮等を活用して子どもといっしょに料理をするもったいないクッキングを実施しましょう。



美しく生きる。

◇ まつもと「城のまち」フードドライブ

“もったいない”から“ありがとう”へ

食品大募集

食べ物に困っている人がいるのに、たくさんの食べ物が捨てられています。1年間に発生する食品ロスは、約64.2万トン（平成27年度推計）。その内、家庭からは約31.2万トンと半分を占めています。“もったいない”から“ありがとう”へご協力をお願いします。

第2回・第3回
まつもと「城のまち」フードドライブ

日時：第2回-平成28年2月18日(木)
第3回-平成28年3月17日(木)
10:00~13:00

場所：松本市役所 東庁舎1階
青少年育成センター（正面玄関入って左）

目的
食品ロス削減
&
生活困窮支援

【寄付していただきたい食品】
カップ麺、缶詰、レトルト食品、乾麺、お米 など
保存できるもの

※寄付いただく食品は、次の下の条件を満たす食品とさせていただきます

- 賞味期限が切れて、1週間以上あるもの
- 未開封のもの
- 包装や外装が破損していないもの
- 虫類食品以外のもの
- お米は5kgまで

【主催】フードバンク信州【共催】松本市
【問い合わせ先】NPO法人フードバンク信州（期間中のみ）
TEL:026-289-0026 FAX:026-289-0016
松本市役所 東庁舎1階
TEL:026-34-3236 FAX:0263-34-0400



◇ 残さず食べよう！30・10運動 応援ソング

【おうち編】
 30（さんまる）毎月冷蔵庫を見よう
 賞味期限は大丈夫かな
 おいしいうちにみんなで食べちゃおう
 もったいないから
 買物前には冷蔵庫の中をチェックしよう

10（いちまる）今度は
 まるごとクッキング
 野菜の皮も茎も食べちゃおう
 今できること、それは残さずクッキング
 しっかり食べて僕も家族も笑顔になる

3010今日もおいしく食べよう
 3010今日も残さず食べよう

応援ソングは
 松本市のホームページで
 聞くことができます。

【えんかい編】
 乾杯！今日もお疲れさま
 おいしい料理をまずは食べよう
 お酒を注ぐのはちょっとだけがまんして
 食べ物にありがとう
 そしてシェフにも感謝しようよ

残して捨てたらごみだけど
 食べれば心も体も元気に
 もったいないからしっかり食べきって
 僕も仲間もみんな笑顔になる

※ 3010今日もおいしく食べよう
 3010今日も残さず食べよう

※ 繰り返し
 ※ 繰り返し

3010 3010 3010 3010

